

ノーサイド

北原 巖 男

のすぐ後ろの耕作放棄地
の、見た瞬間その姿に土気
を喪失しかねない旺盛な勢
いで繁茂している様々な雑
草たちと成長留まるところ
を知らないタケノコや若竹
たちです。みんな我が物顔
で、上から視線で僕を見て
いるように感じてしまいま
す。

僕は完全に身構えていま
す。
現職時代、「僕もそうだ
なあ」と作家の三島由紀
夫さんの言葉につぶやいて
いた自分が、当時とは全く
関係もなくシチュエーショ
ンも全然異なる今、急に浮
き上がってきた。

は、相手に鎧帷子を脱いで
もらうことなど、ほぼ不可
能に近いのではないかと少
て余りあるものがありま
す。
目に見えない鎧帷子の
存在を意識しながら、お
互いに身構える必要のな
い、取り越し苦労の少な
い、明るい人間関係・信
頼関係で結ばれた防衛省
障環境や大規模自然災害が
頻発する中で、防衛省・自
衛隊に寄せる国民の皆さん
の信頼は確実に高まってい
ます。

鎧帷子

久しぶりにふるさと長
野県伊那市高遠町の実家
に帰りました。玄関の鍵
を開け、まずはゼンマイ
式柱時計のネジを巻いて
生き返ってもらいます。
標高1000mに加え
て平日しか陽が当たらな
い生家なのですが、それ
でもこの時期、僕を出迎
えるのは、家の周りや家
去に追いかけて刺され

この時期の彼らとの格闘
から逃げてしまうと、彼我
の勢力比は決定的になり、
手の付けようがなくなるの
です。泣きたい思いをして
打ちのめされたあのときの
恐怖がよみがえってきます。
僕は、彼らへの挑戦に対
する身震いに加え、熱中症
装です。
「弱い人間ほど身構える
とはよく言ったものです。」

「傷つきやすい人間ほど、
複雑な鎧帷子(よろいかた
びら)を身につけるものだ。
そして往々、この鎧帷子が
自分の肌を傷つけてしま
う」
なかなかエンジンがかか
ない自分であっていいので
は、相手は鎧帷子を脱いで
もらうことなど、ほぼ不可
能に近いのではないかと少
て余りあるものがありま
す。
目に見えない鎧帷子の
存在を意識しながら、お
互いに身構える必要のな
い、取り越し苦労の少な
い、明るい人間関係・信
頼関係で結ばれた防衛省
障環境や大規模自然災害が
頻発する中で、防衛省・自
衛隊に寄せる国民の皆さん
の信頼は確実に高まってい
ます。
しかし、大変残念なこと
は、そうした国民の皆さん
を震撼させる大きな事故・
事件が続いていることで
す。現在、原因の徹底的な
調査が行われていますが、
協会会長、(公社) 隊友
会理事

北原 巖男(きたはらい
わお) 元防衛施設庁長